【令和8年度 総合人間学部主催
「総合人間学部 1，2 回生のための 4 回生による就職活動体験報告会」を開催しました】





■ 開催の目的

2026年11月5日（木）、総合人間学部主催「総合人間学部 1，2 回生のための 4 回生による就職活動体験報告会」を開催しました。本企画は、在学生が早期から将来のキャリアや就職活動について考えるきっかけづくりを目的として、総合人間学部の 1～4 回生および人間・環境学研究科の院生を対象に実施しています。

■ 就職担当教員による就職活動の現状について

はじめに就職担当教員の久代先生より、「就職活動の現状について」お話しがありました。

卒業後の進路は「企業への就職」だけではなく進学、公務員・教員、起業など、さまざまな選択肢があることを紹介し、自分に合った進路を選ぶことの大切さについてお話いただきました。また、近年の卒業生の傾向にもふれながら、就職先を考える際には、仕事内容や自分の適性・興味関心だけでなく、労働条件や福利厚生、AI 時代における企業の将来性、長く役立つスキルを身につけられるかどうかといった視点も大切であることが伝えられました。

昨年度の卒業生の進路に関するデータは、「学部を知る」（https://www.h.kyoto-u.ac.jp/student/ug/data/）に掲載されていますので、ぜひ参考にしてください。求人票はKULASISにも掲載しています。また、総合人間学部には企業から依頼される「大学推薦（学校推薦枠）」の制度もあります。大学推薦では、選考プロセスが一般応募よりも簡略化されるなどのメリットがあります。就職活動や進路について気になることや相談したいことがあれば、久代先生にも気軽にご相談ください。

■ 先輩学生による就職活動体験談

続いて、就職活動を終えた総合人間学部の4回生3名が登壇し、それぞれの経験を紹介してくれました。総合人間学部での幅広い学びを生かしながら、就職活動の準備からエントリー、面接、内定に至るまで、実際に経験したことを率直に語ってくれました。志望業界の情報や就職活動中のエピソードなど、先輩ならではの具体的なお話を聞くことができ、自分自身の進路や就職活動について考えるうえで、多くのヒントが得られる時間となりました。

● ベンチャー企業（食料品 EC 事業） 内定／人間科学系



1・2回生の頃はサークルや子ども食堂などの活動に力を入れ、3回生の5月中旬頃から就職活動を始めたそうです。当初志望していた大手食品企業のインターンシップ選考で苦戦したことをきっかけに、就職活動支援サービスやエージェントを活用し、ベンチャー企業にも視野を広げていった経験を紹介してくれました。夏のインターンシップ（3日間の新規事業立案など）を通じて、実際に働くイメージが具体的になったことや、自己分析では「なぜ自分に合わないと感じたのか」を言葉にして整理することの大切さを話してくれました。また、1・2回生のうちから

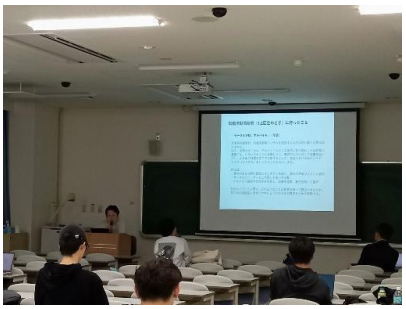
興味のあることに積極的に挑戦してほしいというメッセージも伝えてくれました。

● ベンチャー企業（事業開発系） 内定／認知情報学系



部活動と両立しながら、2回生の3月という比較的早い時期から、就職活動支援サービス（エンカレッジなど）をきっかけに準備を始めたそうです。夏のインターンシップには数多く参加し、他大学の学生との交流も楽しみながら就職活動を進めた経験を紹介してくれました。面接対策では、「質問されたことに対して、まず結論から答える」ことや、友人やエージェントなど、周囲の人との対話を通じて自分の考えを整理することが役立ったそうです。また、就職活動の準備そのものが、社会人になるためのよい経験になるという前向きなメッセージも届けてくれました。

● 大手コンサルティングファーム 内定／文化環境学系



1・2回生の頃に「好きなこと」や「頑張ったこと」に取り組んだ経験が、エントリーシート（ES）や面接で自分の考えを伝える際の説得力につながることを紹介してくれました。また、グループディスカッションでの役割の意識や、コンサルティング業界特有の「ケース面接」への対策についても、具体的なお話がありました。さらに、実践的なアドバイスとして、「就職活動専用のメールアドレスを作る」「AIツールを積極的に活用する」「OB・OG訪問サービスを利用する」「企業の口コミサイトで情報を集める」という4つのポイントを紹介してくれました。周囲の意見に流されすぎず、自分自身の考えや大切にしたいことを軸に進路を選んでほしいというメッセージが印象的でした。

■ 質疑応答・参加者の声

質疑応答では、先生や参加した学生から「AIの発展が今後の雇用に与える影響」「学業・部活動・アルバイトと就職活動の両立」「周囲に就職活動をしている学生が少ない中での仲間づくりや情報収集」など、さまざまな質問が寄せられました。登壇した3名は、それぞれの経験を交えながら丁寧に答えてくれました。実際に就職活動を経験した先輩たちの工夫や考え方に触れることができ、参加者にとっても参考になる時間となりました。



進路選びについては、「就職活動のためだけに行動するのではなく、大学生活の中で自分が本当にワクワクすることや、楽しいと感じることに打ち込んでほしい」「就職活動のコミュニティや社会人メンター、AIなどのツールも上手に活用してほしい」といったアドバイスがあり、3名に共通する思いが伝わってきました。また、「最後はきっとうまくいくから大丈夫」という温かく心強い言葉も贈られました。最後に久代先生から、「皆さんの就職活動や進路選択がうまくいくことを願っています」とのエールが送られ、報告会は締めくくられました。今回のお話が、皆さんにとって自分らしい将来を考えるきっかけになれば幸いです。今後もぜひ気軽に参加して、先輩たちの経験やアドバイスを役立ててください。

総合人間学部 学部教務掛